令和　７年　７月　２９日

令和６年度　特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学　校　名	管理機関名	設置者の別
富加町立富加小学校	富加町教育委員会	公

１．学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学　校　名	特別の教育課程の編成の方針等の公表 URL
富加小学校	https://www.town.tomika.gifu.jp/docs/10838.html

※必要に応じて行を追加すること。

２．学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学　校　名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
富加小学校	http://www.tomika-es.tomika.gifu.jp/?page_id=133	http://www.tomika-es.tomika.gifu.jp/?page_id=133

※必要に応じて行を追加すること。

３．特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

（１）特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

⊙計画通り実施できている

・一部、計画通り実施できていない

・ほとんど計画通り実施できていない

（２）実施状況に関する特記事項

※（１）で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

（３）保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

⊙実施している

・実施していない

＜特記事項＞

学校のホームページ等を活用して、取組の様子を保護者や地域に知らせている。

４．　実施の効果及び課題

（１）特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

富加町の園・学校数は、こども園１校、小学校１校である。町内のほとんどの園児が町内のとみかこども園に通っている。富加町では、小学校の ALT がこども園での英語に親しむ活動の講師も務めており、幼児期から外国語に親しむことができるように計画している。

富加小学校においては、１・２年生の期間も教育課程の特例を受けて外国語活動に取り組むことで、３年生から始まる外国語活動に、幼児期から切れ目なく親しませ、コミュニケーション能力の向上を図っている。

（２）学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

令和６年度、１年生から６年生までの児童、保護者を対象に、外国語活動についてのアンケートを実施したところ、次のような結果であった。

【児童アンケート（単位：%】

１：楽しくない　２：どちらかというと楽しくない　３：どちらかというと楽しい　４：楽しい

	質問	３・４の割合
Q1	英語科・外国語活動の時間は楽しいですか。	８４．６%

１：使っていない　２：どちらかというと使っていない　３：どちらかという使っている　４：使っている

	質問	３・４の割合
Q2	英語科・外国語活動で学んだことを、日常生活の中で使っていますか。	７６．７%

【保護者アンケート（単位：%】

１：していない　２：どちらかというとしていない　３：どちらかというとしている　４：している

	質問	３・４の割合
Q1	お子さんは、英語科・外国語活動を楽しみにしていますか。	７０．９%

１：していない　２：どちらかというとしていない　３：どちらかというとしている　４：している

	質問	３・４の割合
Q2	お子さんは、日常生活の中で、英語科・外国語活動で学んだことを使おうとしていますか。	５２．１%

令和２年度から学校評価の一部に外国語に関する教育活動についての評価項目を取り入れている。今後も続け、経年比較の成果と課題を行っていく。

令和６年度の結果から分かることとして、「外国語活動を楽しみにしている」児童の割合が、昨年度と比較して、1.2%高くなっている。また、保護者についても、2%高くなっている。これは、教科担任制を取り入れることで、言語活動が充実し、教科の本質に関わる部分

で楽しさを実感できる児童が増えてきたことが要因として考えられる。

「日常の生活の中で学んだことを活かそうとする意識」は、児童・保護者共に昨年度に引き続き高いとは言えない。外国人住民や外国人児童が身近に少なく、学んだ言語を日常生活の中で話すことが少ないことが要因であると推察される。

５．課題の改善のための取組の方向性

４に示すような課題を踏まえて、令和７年度も本特例の改善を図ることが必要だと考えられる。そのためには、外国語活動を推進する教師によるリーダーシップの下、学校全体として外国語活動を系統的に取り組んでいくことに加え、教師が各学年で身に付けるべき資質・能力を理解していくことが重要である。また、タブレットを活用し、家庭でも外国語を聞く・話す場を設けることで、「学んだことを日常生活に活かす」意識の向上を図っていきたい。